

# 泉の自治だより

題字 田中伸一

No. 115

発行所 泉町連合区  
 発行責任者 連合区会長 田中 伸一  
 事務局 (泉公民館内)  
 土岐市泉中寮町 TEL 55-3653  
 編集部長 香川 知明



実用書道クラブ木曜会  
田中 伸一

## 泉町連合区より平成27年度要望書が市へ提出されました

泉町連合区からの要望の他、泉町各区（河合、定林寺、駅前、大富、久尻）からの要望書も市へ提出されました。

今年度の泉町連合区会の土岐市に対する要望事項で、泉町選出市議団とも協議をしまして下表のようになります。概ね昨年と同じ継続事項ばかりですが、どれも泉町にとっては大変重要な懸案事項であります。まず、泉認定こども園の建設問題ですが、五月十四日に今年度連合区役員及び市議団に対して、行政（市民部長他）からの説明会がありました。その中で去る一月二十八日に開催された地元説明会で、住民の方々から環境整備等の多くの問題点が指摘され、行政側は一度持ち帰り検討するという事でしたが、その後行方不明の回答がまだ届いておらず、皆様に報告が出来ない状況であります。

次に、泉公民館建設要望についてですが、現在の公民館は昭和五十六年建設で三十五年経過、市民の利用度も大幅に増加、生涯学習の場としても施設の不備（部屋、駐車場の不足、バリアフリー化等）が多く、新公民館の建設は急務であります。連合区会では、二十六年より泉町公共施設等整備促進協議会として、公民館及び泉町の公共施設等の整備に対する陳情を行っており、現状であります。今後の対応として市議団とも協議を重ねて陳情を続けてまいります。引き続き町民の皆様の強い御支援をお願い致します。

平成二十七年  
市への要望事項  
泉町連合区会長  
田中伸一

### 平成27年度 泉町連合区要望書

項目	要望事項	要望の要旨
1. 施設の建設	(1) 泉町認定こども園建設計画に対する地元要望 (継続)	貴市から「泉町認定こども園について」の建設計画を平成26年5月12日に泉町連合区および泉公民館建設小委員会に対して初めての説明があり、それ以降平成26年10月2日にセラトピアにて泉町全体を対象とした説明会、平成27年1月28日に泉公民館で大徳町・梅の木町・西寮町を主とした地域説明会がありました。 そして平成27年5月14日に泉公民館で新しくなった泉町連合区役員8名・改選された泉町市議団5名にいままでの経緯説明があり、「いずみ保育園」「みづば保育園」「泉幼稚園」の3園を統合して「泉認定こども園」を大徳原球場に建設する事がベストであるとの事でした。いままでの説明会において町民より数々の問題の指摘がありました。これらの課題を解決し建設計画を推進して頂くにあたり、次の通り要望します。 ①大徳原球場周辺の道路および環境の整備をすること。 ②大徳原球場の廃止に伴う地元代替え施設の整備をすること。 ③大徳原球場跡地での泉認定こども園および泉公民館・泉児童センターを含めた全体の土地利用計画と建設計画を示すこと。 これらの課題解決策を地元住民に説明し同意を得るようにすること。 ④賛同が得られない場合は、「いずみ保育園」「みづば保育園」ともに耐震的に問題があり園児等の安全安心を考え、つぎなる代案を検討して新たな建設計画を示すこと。
	(2) 泉公民館建設促進を要望 (継続)	泉公民館は、市内で利用率のもっとも高い公民館ですが、建築面積は他の公民館の半分で600㎡と狭く、昭和56年に建設されて34年を経過し、給排水設備等の老朽化と建設当時の設備内容では不十分で生涯学習施設としては利用しづらい状況にあります。さらに駐車場の不足は最も深刻です。隣接する公園や神社の駐車場を借用しても20数台がやっとの状況であり一日も早い対策が必要となっております。 このような状況である為、泉連合区として平成11年頃より毎年泉公民館の建設を継続して要望してきました。そして平成19年度には「泉公民館建設委員会」を立ち上げ、広く町民の意見を集約し建設要望を進めてきました。 ご承知のとおり、泉公民館は幼児から高齢者まで幅広い層の利用者が多く利用され、平成26年度では41団体・延べ約2万7千名の利用があり、また、災害時には地域の避難所として利用されています。バリアフリー対策・エレベータ・洋式トイレ・給油設備の整備等の対応が求められています。 以上のことから生涯学習充実の必要性に加えて、災害時の泉町の拠点施設として泉公民館の建設は急務であると考えますので、どうか市当局に課せられましては「(仮称)泉認定こども園」の建設計画を市営大徳原球場において進められる場合には、長年の懸案事項となっております泉公民館の建設計画と並行して進めて頂きますよう強く要望します。
	(3) 泉児童センターの建設促進を要望 (継続)	泉児童センターは、平成9年から一校区一児童館の方針に基づき泉西校区に泉西児童館の建設要望をして参りましたが、平成16年になって市から児童館が担って来た未就園児やかぎ子対策について、幼稚園での3歳児の受入や保育園での子育て支援センターの設置、小学校での放課後教室の設置に伴い「児童館・児童センター」の見直しが必要との理由により泉西校区での児童館建設が後退しました。 そこで以前から泉児童館の老朽化と駐車場の狭隘が問題となっていたので、平成20年から泉町一つの「泉児童センター」の建設要望を継続して来ました。 去る平成26年5月12日貴市からの「(仮称)泉認定こども園」の建設計画により、認定こども園に併設して「子育て支援センター」が設置されることですが、子育て支援センターは未就園児が対象であり、小学生の児童は対象とはなっていません。 現在、泉・泉西小学校での放課後教室が学童保育の補完的な役割を果たしていますが、放課後教室に行けない児童もいます。 児童センターでは、児童同士が互いに交流し、社会学習や体験学習など多く役割を果たしています。 人口減少が予測される中において、国の「骨太の方針」で子育て支援が重要な柱として位置づけられていますように保育園、幼稚園、児童センター、小学校、中学校、公民館等が一体となって、あらゆる機会を捉えて子育て支援のできる環境づくりが求められています。 よって、(仮称)泉認定こども園の建設計画の推進に当たっては、泉児童館が狭隘で老朽化しておりますので、泉児童センターの建設計画を含めた建設計画を策定されますよう強く要望します。
2. 道路の建設	(1) 国道19号線・池の上交差点から中央自動車道新丸石橋経由五斗峠までの道路建設を要望 (継続)	本要望道路は、平成15年度に「住民参加型道づくり委員会」で協議し、その成果による要望であります。また国道19号の危険地帯を解消するためにも早急な実現を要望します。 現在、土岐アクアシルヴァの企業誘致、県道土岐可児線の道路整備が進み、交通量が飛躍的に伸びて来ており、国道19号に出る車が多くなり渋滞が発生している。このため寺上町中央道および久尻保育園から西原町を通り国道19号へ抜ける車があり、この地域で生活環境が危険になって来ている。 池の上交差点の改良工事と新設道路建設について、今後とも早期実現して頂くよう強く要望します。 なお、県道土岐可児線の土岐アクアシルヴァから環境センターへの進入道路となる交差点の改良工事が進められていますが、引き続き南進して工事を進めて頂き、池の上交差点からは緑ヶ丘町に向けては、北進して工事を進めて頂きますようお願いいたします。
3. その他事項	(1) 「陶祖碑」の移転について (継続)	榎木公園内に巨大な陶祖碑が建設されて半世紀以上が経過し、美濃陶祖（加藤景延公）の顕彰記念碑として市民に親しまれて来ました。毎年、春の陶祖祭には市民挙げて遺徳を偲び祭礼が執り行われて来ました。しかし、築60年以上を経過し、近年、南海トラフを震源とする巨大地震の発生が想定される中、倒壊が大変に心配される状況にあります。 榎木公園は児童公園であり、公園内にこのような危険性がある「碑」が建立されていると住民も安心して過ごすことが出来ません。「美濃陶祖奉賛会」でも移築について思慮されておられ、住民の安全を考えるうえで地元駅前区に移築についての協力依頼がありました。美濃陶祖碑は市の管理となっていると思われ、昨年度に美濃陶祖ゆかりの「織部の里公園」に移築して頂くよう要望しましたが、当該公園は文化財を保存活用する公園であり、特定の個人を顕彰する施設ではないとの回答でしたが、当市の地場産業である美濃焼を多くの市民ならびに他市から来られる方々に、美濃焼の歴史の始まりである美濃陶祖の偉功も知ってもらえるよう「陶祖碑」の移築を強く要望します。

# 「泉町笑顔の集い」

泉町青少年育成会長 安江 年正

育成会長として二年目の年度が、去る五月十六日に行われた「泉町笑顔の集い」(旧名:泉町青少年育成町民会議)でスタートしました。この大会の開催につきまして、多くの団体及び個人の皆様にも多大なるご協力を頂きました。また、参加頂きました多くの町民の方々からも、たくさんのご支援を頂きました。この場を借りまして改めて御礼申し上げます。

土岐市では、泉町も含め各町合わせて八つの育成会が存在しています。各町の育成会も、それぞれが特色のある企画を持って、育成会活動を展開されています。また、町民会議につきましても、青少年の健全育成をテーマに、多くの町民の方々へ理解と協力を確認できる場となるような取り組みがそれぞれの町にて実施されています。泉町におきましても、その目的とするところは同じであります。今回は「泉町笑顔の集い」の特徴的で新しい試みとなる二点について紹介させて頂きたいと思っております。

一点目は、会議全体を取り仕切る司会・進行です。司会や進行を中学生のボランティアにお願ひすることという取り組みは、数年前から実行されていることですが、町民の方からも好評を頂いていま

を与えるメッセージを書いて頂きました。当日はこの手書きのメッセージと卒業生の笑顔をストックインに映しながら、アンジェラ・アキさんの「手紙」(混声三部合唱)を聞いて会議を終りました。こちらも初めての試みで、課題も残りしましたが、心に残る内容だった。「子どもたちの思いが地域の未来も拓く」など、多くの方々から「感動しました。」との言葉を頂きました。

今年の十一月七日(土)には、泉地区の小学校・中学校・育成団体がそれぞれの活動や成果を発表する機会「夢と絆の集い」があります。(全体会は泉中学校 土岐市内からも多くの方々が見学にみえる大会です。また、一般の方々への参加も大歓迎です。私達は、この大会を「泉町笑顔の集い」の延長として考えております。是非この機会に、子どもたちの「笑顔」と「感動」にふれ、「夢」と「絆」を広げる活動にご参加下さい。

二点目は、会議の最後を締めくくるフィナーレです。今年の三月に中学校を卒業した方々に、メッセージを書いて頂きました。テーマは「十五年後の自分へ」です。自分に宛てた手紙ですが、とても素直な文章で多くの人に「勇気」と「感動」



泉町笑顔の集い

# 平成二十七年 度

## 泉町笑顔の集い(泉町青少年育成会)発表内容

### 「青少年の主張」発表内容

去る五月十六日(土) 泉中学校で平成二十七年度泉町青少年育成会が開催され、その概要については前号でお知らせしましたが、今号では、「青少年の主張」で発表された内容を掲載します。

なお、紙面の都合上育成会で選んで頂きました二名の方の発表内容を掲載しました。

# 高校生活の思い出を振り返る

東濃フロンティア高校 一年 塚本 弥侖

私が高校生になって成長したと思うことは、学校へ行くのが楽しいと思えるようになったことです。中学生の頃までは、学校へ行くこと、先生やクラスメイトに会うことを苦痛感じていました。その気持ちもあつてか、二日以上続けて朝から登校することはほとんどできていませんでした。学校へ行かなければならないことは頭では分かっていたとしても、毎朝吐き気や頭痛に襲われて、思うように動くことができませんでした。

ある日、みんなとは別室で午後からテストを受けていると、ある一人の先生に「あなた、それでいいかと思ってるの。これから先、特に入試はどうするつもりですか」と言われました。その時の私は「なまけているんじゃないぞ。」としかられた

生はバス停で「あなたなら大丈夫。」と言ってくれました。その時何かがストンと落ちたような気がしました。

先生はあの時、私のことが嫌いでしかつたわけではなかったんだ、と思いました。そして、もう誰も裏切りたくない、そう思いました。

変わるう、と思ったのは、合格発表の朝でした。合格していても、不合格だったとしても、私は自分を変えるんだ、と決心しました。自分で自分を変えようという事は、自分のためであり、自分のことを思ってくれる誰かのためでもあるのだと、気付いたからです。

今、私は、定時制の東濃フロンティア高校のIII部で、夜の九時まで勉強しています。高校生活は始まったばかりですが、少しずつ、気持ちから自分が変わっていくのを感じています。少し疲れたと思う日はありますが、それでも学校へ行きたいと思えます。クラスメイトと話をすることや、先生に勉強を教えてもらうことが楽しいからです。それらの全ては、いつか私が大人になったときに必ず自分のためになるはずだと少しも思えるようになったことが、私の一番の成長です。

# 人の役に立つ仕事

泉中学校 三年 伊藤 千紘

みなさんは、「人の役に立つ仕事」ってどんな仕事だと思いますか。私は、中学校二年生の十月、職場体験で土岐市の給食センターに行きました。

始めに、施設内の見学をしました。職場の方々はとても忙しそうに作業をしていました。私たちが調理場に入った時にはもう、たくさん野菜がカットされ、調理を始めるところでした。さらに約六〇〇人分の給食を屋までつくらなければいけないということもあり、細かい計画表がありました。約六〇〇人分の給食はものすごく量が多く、かき混ぜるのも重労働でした。朝早くから準備をし、夕方まで片づけをし、一日中忙しく働いていました。また、給食は子どもたちの口に入るため、衛生面には細心の注意を払っていました。手を必ず二回洗ったり、作業をする場所によってくつをはきかえたり、調理する所に入る前には必ずエアシャワーをあびてから入ったりと、本当に細かいところまで気を配っている姿が印象に残りました。

いる私たちは全く知らないということですが、こんなに頑張っているのに、つくってもらった給食を食べるだけの私たちは、何も知りません。私は、頑張りを認めてもらえないかもしれないのになぜそんなに頑張れるのか疑問に思いました。「仕事だからしょうがない」そんな風に思っているのでしょうか。私は違うと思います。「仕事だから」というだけでは、こんなにも頑張れないと思いたい。「誰かの役に立ちたい」という気持ちがあるから頑張れる、私はそう思いました。

私は「人の役に立つ仕事」がしたい」と考えています。職場体験に行くまでは、人の役に立つ仕事といえば、お医者さんや警察官、消防士など、みんなから見えるところの仕事だと思っていました。しかし、この職場体験を通して、どんな仕事でも人の役に立っていると考えました。人の役に立たない仕事なんてない。私はそう思います。どんな小さな仕事でも必ず誰かの役に立っていると思えます。

私の父は市役所の福祉課で働いています。私は父がどんな仕事をしてい



るのかほとんど知りませんでした。父は朝、八時頃家を出て、夜の九時頃帰ってきます。朝から夜まで働いているけれど、誰のどんなところで役に立っているのか私にはわかりません。みなさんの中にも家族のしている仕事が多様な仕事なのか、誰のどんなところで役に立っているのか、知らない人もいます。私は、職場体験を終え、どんな仕事でも誰かの役に立っていると思うようになってから、私は父の仕事が誇れるものだと思えるようになりました。

さらに、私は「人の役に立つ仕事」というのは学校生活の中にもあるのではないかと考えました。学級委員や班長などみんなの前に立ち、リーダーとして引張って行く人もいます。毎日花の水やりをしてくれたり、予定黒板を書きかえてくれたりする仕事も立派な人の役に立つ仕事だと思えます。

私は、職場体験を通して、「人の役に立つ仕事」の意味を考えました。私が出した答えは、「どんな仕事でも人の役に立っている」ということです。今、目の前にある学校の係活動も誰かの役に立っていると思って、頑張ります。また、将来、誰からも頑張りを認めてもらえない仕事に就いたとしても、必ず誰かの役に立っていると思って頑張りたいです。

色あざやかな花火の打ち上げも終わり、織部祭り、そして各地区で行われ、また夏祭りの賑わいとともに、ひとしおおまつり泉町の夏が今年もまた過ぎ去ろうとしております。

■今年の盆踊り  
色あざやかな花火の打ち上げも終わり、織部祭り、そして各地区で行われ、また夏祭りの賑わいとともに、ひとしおおまつり泉町の夏が今年もまた過ぎ去ろうとしております。

泉町連合区女性部長 今井 由子

盆踊りは、祖霊を慰めお見送りする行事であるとともに、人々の交流、結びつきといった地域にとりましても大きな役割をもつた行事であるといわれます。満月の夜、月の引力に導かれ、心も高揚して踊る、若い男女の出会いの場であったりもされております。今の時代なら、さながら婚活の大イベントと言えるのかも知れません。ぜひ、若い皆さんもより多数のご参加をいただければと思います。

盆踊りは、祖霊を慰めお見送りする行事であるとともに、人々の交流、結びつきといった地域にとりましても大きな役割をもつた行事であるといわれます。満月の夜、月の引力に導かれ、心も高揚して踊る、若い男女の出会いの場であったりもされております。今の時代なら、さながら婚活の大イベントと言えるのかも知れません。ぜひ、若い皆さんもより多数のご参加をいただければと思います。

盆踊りは、祖霊を慰めお見送りする行事であるとともに、人々の交流、結びつきといった地域にとりましても大きな役割をもつた行事であるといわれます。満月の夜、月の引力に導かれ、心も高揚して踊る、若い男女の出会いの場であったりもされております。今の時代なら、さながら婚活の大イベントと言えるのかも知れません。ぜひ、若い皆さんもより多数のご参加をいただければと思います。

女性部の今後の活動として、年間を通してた駅周辺パトロールの取り組みに引き続き参加してまいります。秋以降も市の敬老事業への協力を公民館祭りへの参画(バザー)など、地域の皆様と直接に接するきめ細かな活動を展開し、泉町連合区の自治活動の一翼を担ってまいります。



女性部の今後の活動として、年間を通してた駅周辺パトロールの取り組みに引き続き参加してまいります。秋以降も市の敬老事業への協力を公民館祭りへの参画(バザー)など、地域の皆様と直接に接するきめ細かな活動を展開し、泉町連合区の自治活動の一翼を担ってまいります。

女性部の今後の活動として、年間を通してた駅周辺パトロールの取り組みに引き続き参加してまいります。秋以降も市の敬老事業への協力を公民館祭りへの参画(バザー)など、地域の皆様と直接に接するきめ細かな活動を展開し、泉町連合区の自治活動の一翼を担ってまいります。

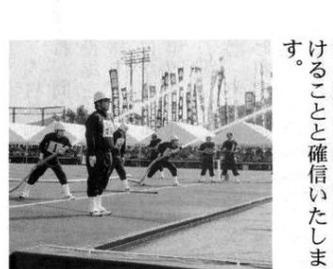
女性部の今後の活動として、年間を通してた駅周辺パトロールの取り組みに引き続き参加してまいります。秋以降も市の敬老事業への協力を公民館祭りへの参画(バザー)など、地域の皆様と直接に接するきめ細かな活動を展開し、泉町連合区の自治活動の一翼を担ってまいります。

設置場所	所在地	設置場所	所在地
泉公民館	泉中窯町	泉西公民館	泉が丘
泉中学校	大 富	泉小学校	泉中窯町
泉西小学校	久 尻	泉小学校付属幼稚園	泉中窯町
泉西小学校付属幼稚園	久 尻	泉児童館	泉神楽町
みつば保育園	河 合	いずみ保育園	久 尻
久尻保育園	久 尻	延命保育園	泉東窯町
東濃フロンティア高校	河 合	東濃特別支援学校	河 合
土岐市環境センター	久 尻	土岐市美濃焼伝統産業会館	久 尻
土岐市美濃陶磁歴史館	久 尻	大徳原球場	久 尻
土岐市施設管理公社	大 富	土岐市保健センターすこやか館	久 尻
織部の里公園	久 尻	土岐市総合活動センター	定 林
土岐市武道館	大 富	県立はなの木苑	久 尻
J Aとうと泉梅ノ木支店	泉梅ノ木	J Aとうと定林寺支店	定 林
道の駅 志野・織部	北 山	石黒商事(株)セルフサントピア19	泉 郷
(株)イーグルアイ・ブルーム土岐	大 富	おりへの丘住宅街中央通り南小公園	大 富
小栗歯科	久 尻	大豊工業(株)土岐工場	泉北山町
Curves土岐大島	泉大島町	岐阜トヨペット(株)土岐店	定 林
岐阜日産自動車(株)土岐店	定 林	寺 けあらーず土岐指定通所介護事業所	泉東窯町
ささき耳鼻咽喉科	泉仲森町	真空セラミックス(株)	定 林
(株)タイホウパーツセンター第一工場	泉北山町	中日本エクストール名古屋(株)土岐料金所	大 富
中部電気保安協会多治見営業所	久 尻	KEIZ土岐店	河 合
豊裕院土岐斎場	泉仲森町	ホーリークロスホーム	久 尻
タカグリニック	泉神楽町		

設置場所	所在地	設置場所	所在地
泉公民館	泉中窯町	泉西公民館	泉が丘
泉中学校	大 富	泉小学校	泉中窯町
泉西小学校	久 尻	泉小学校付属幼稚園	泉中窯町
泉西小学校付属幼稚園	久 尻	泉児童館	泉神楽町
みつば保育園	河 合	いずみ保育園	久 尻
久尻保育園	久 尻	延命保育園	泉東窯町
東濃フロンティア高校	河 合	東濃特別支援学校	河 合
土岐市環境センター	久 尻	土岐市美濃焼伝統産業会館	久 尻
土岐市美濃陶磁歴史館	久 尻	大徳原球場	久 尻
土岐市施設管理公社	大 富	土岐市保健センターすこやか館	久 尻
織部の里公園	久 尻	土岐市総合活動センター	定 林
土岐市武道館	大 富	県立はなの木苑	久 尻
J Aとうと泉梅ノ木支店	泉梅ノ木	J Aとうと定林寺支店	定 林
道の駅 志野・織部	北 山	石黒商事(株)セルフサントピア19	泉 郷
(株)イーグルアイ・ブルーム土岐	大 富	おりへの丘住宅街中央通り南小公園	大 富
小栗歯科	久 尻	大豊工業(株)土岐工場	泉北山町
Curves土岐大島	泉大島町	岐阜トヨペット(株)土岐店	定 林
岐阜日産自動車(株)土岐店	定 林	寺 けあらーず土岐指定通所介護事業所	泉東窯町
ささき耳鼻咽喉科	泉仲森町	真空セラミックス(株)	定 林
(株)タイホウパーツセンター第一工場	泉北山町	中日本エクストール名古屋(株)土岐料金所	大 富
中部電気保安協会多治見営業所	久 尻	KEIZ土岐店	河 合
豊裕院土岐斎場	泉仲森町	ホーリークロスホーム	久 尻
タカグリニック	泉神楽町		

少子高齢化や生活の多様化に直直し、自治会活動もその人材の確保に困難を極めております。加えて男女共同参画の時代、第一線で責任のある職に就かれる女性も増え、女性部も共に活動して頂ける若い力の確保が一層難しくなっております。

少子高齢化や生活の多様化に直直し、自治会活動もその人材の確保に困難を極めております。加えて男女共同参画の時代、第一線で責任のある職に就かれる女性も増え、女性部も共に活動して頂ける若い力の確保が一層難しくなっております。



この大会は、消防団の消防技術の向上と士気の高揚を図ることを目的として、昭和二十七年から実施されている伝統行事です。今年度は、県内各市町から選抜された三十隊が日頃の訓練の成果を発揮し競技種目の『ポンプ車操法』技術を猛暑の中で競い合いました。

この大会は、消防団の消防技術の向上と士気の高揚を図ることを目的として、昭和二十七年から実施されている伝統行事です。今年度は、県内各市町から選抜された三十隊が日頃の訓練の成果を発揮し競技種目の『ポンプ車操法』技術を猛暑の中で競い合いました。

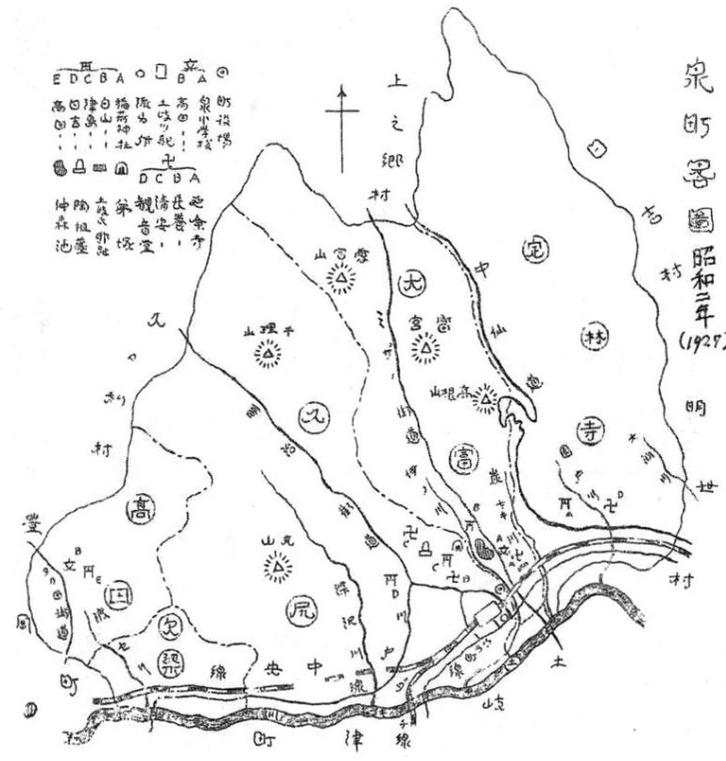
この大会は、消防団の消防技術の向上と士気の高揚を図ることを目的として、昭和二十七年から実施されている伝統行事です。今年度は、県内各市町から選抜された三十隊が日頃の訓練の成果を発揮し競技種目の『ポンプ車操法』技術を猛暑の中で競い合いました。

平成27年度泉町のイベントカレンダー (10月~3月)

Table with 5 columns: 月 (Month), イベント (Event), 主催 (Organizer), 開催日 (Date), 会場 (Venue). It lists various events from October to March, including sports events, festivals, and school activities.

郷土の過去を知ることは、郷土愛の根源である。まねに小・中学生に遺跡等について尋ねられても満足に答えられなくて、内心忸怩たる思いがしている。ふるさと泉人物編に元泉小学校長小栗富三郎先生が、郷土学習の必要から昭和二(一九二七)年に「泉町誌」を編集発行し、学習に活用させたとの記録を見、原本を岐阜県立図書館で閲覧した。よき史料を得たので若干手を加え紹介したい。

泉町の昔のことは詳細は不明といえども王朝時代(奈良・平安時代)は、高田勅旨田といひ皇室領であった。当時は勅旨田によって荒地を開墾し、これを後宮(皇后、妃など)にお与えになることが多かった。高田勅旨田もその一つであった。土岐郡の名は天武天皇五年初めて礪杵とあり、後に土岐と変わる。鎌倉時代末期に至って後醍醐天皇の第二皇子世良親王が領せられたが、親王が薨去された後は京都臨川寺三合院に寄進された。土岐頼貞は高田勅旨田の地頭(年貢の取立て役)であった。頼貞の死後、頼貞の女が郷内河井村の年貢を横領したので争いとなった事が「臨川寺重要文案」、「土岐累代記」に見える。その後、足利時代(室町時代)を経て戦国時代に至る間、おお



よそは土岐氏の所領であったが、天文十一(一五四二)年土岐氏の滅亡と共に斎藤氏に移り、織田・豊臣時代(安土・桃山時代)には兼山城主森長可の領する所となった。徳川時代(江戸時代)初期になると、旗本妻木権左衛門の所領となったが、末期に至り久尻村・大富村は幕領、定林寺村は岩村藩に属したが、維新直前三村とも岩村領となった。

明治二年七月藩籍奉還に際して岩村知藩事(旧藩主)の下にあったが、同四年七月廃藩置県に当り岩村県と改称され、同年十一月美濃国内諸県を廃し新たに岐阜県にまとめられ、戸籍作製・戸長の任命等があった。

同六(一八七三)年四月大小区(美濃十二大区一七五小区・飛騨六大区十九小区)を設けるに当り、その第十一大区(可児四十九か村・土岐二十八か村)の内、大富村・久尻村は第十一小区に、定林寺村は十四小区に属することになった。同十年各村が戸長役場を開始したが、同十二年二月小区廃止され、各村が独立した。同十七年九月従前の戸長役場を廃し連合役場を設置するに当り、大富村・久尻村(高田を含む)は土岐郡高山村外四か村に、定林寺は高山ノ内村外四か村に編入され、同十九年より各戸長役場を開始する。この時郡内は十八か村十二役場になる。越えて同二十一年四月市町村制公布により翌二十二年七月郡の組織、町村の分合改称が行われて、定林寺、大富、久尻三村合併して泉村が誕生した。旧村名は夫々に大字名とした。同二十三年に濃飛郡多治見へ移り、四区夫々区会条例を設ける。而して大正四年町制を施行して今日に至る。後、高田区も多治見市へ、河合区は昭和二十九(一九五四)年泉町へ迎え、今日に至る。

我が郷土・泉の沿革について
土岐市郷土史同好会長 大東 義美

附「泉町誌」の史実は「濃飛両国通史」に依る。